

国語
国語総合

令和五年度福岡県農業大学校入学試験問題

※解答はすべて解答用紙に記入すること

□ 次の文章を読んで後の設問に答えよ。

伊豆の南、温泉が湧き出ているというだけで、他には何一つとるところの無い、つまらぬ山村である。戸数三十という感じである。こんなところは、宿泊料も安いであろうという、理由だけで、私はその索寞^{さくぼく}たる山村を選んだ。昭和十五年、七月三日の事である。その頃は、私にも、少しお金の余裕があったのである。

けれども、それから先の事は、□^ア。小説が少しも書けなくなる事だつてあるかも知れない。二箇月間、小説が全く書けなかったら、私は、もとの無一文になる筈^{はず}である。思えば、心細い余裕であったが、私にとっては、それだけの余裕でも、この十年間、はじめての事であったのである。 中略)

甚だ心細い、不安な余裕ではあったが、私は真底から嬉しく思った。少くとも、もう一箇月間は、お金の心配をせずに好きなものを書いて行ける。私は自分の、その時の身の上を、嘘みみたいな気がした。恍惚^{こうこう}と不安の交錯した異様な胸騒ぎで、①かえって仕事に手が附かず、いたたまらなくなった。

東京八景。私は、その短篇を、いつかゆっくり、骨折って書いてみたいと思っていた。十一年間の私の東京生活を、その時々々の風景に託して書いてみたいと思っていた。私は、ことし三十二歳である。日本の倫理に於^おいても、この年齢は、既に中年の域にはいりかけたことを意味している。また私が、自分の肉体、情熱に尋ねてみても、悲しい哉^{かな}それを否定できない。覚えて置くがよい。おまえは、□^ウ。もつともらしい顔の三十男である。東京八景。私はそれを、青春への訣別^{けつべつ}の辞として、誰にも媚^{こび}びずに書きたかった。

あいつも、だんだん□^エになって来たね。そのような無智な①カゲグチが、微風と共に、ひそひそ私の耳にはいつて来る。私は、その度毎に心の中で、強く答える。僕は、はじめから□^オだった。君には、気がつかなかったのかね。逆なのである。文学を一生の業として気構えた時、愚人は、かえって私を粗し易しと見てとった。私は、幽^ゆかに笑うばかりだ。万

年若衆は、役者の世界である。文学には無い。
東京八景。私は、いまのこの期間にこそ、それを書くべきであると思った。いまは、差し迫った約束の仕事も無い。百円以上の余裕もある。いたずらに恍惚と不安の複雑な溜息をもらして狭い部屋の中を、うろろう歩き廻っている場合では無い。私は絶えず、②昇^あらなければならぬ。

東京市の大地図を一枚買って、東京駅から、米原行^{まいばら}の汽車に乗った。遊びに行くのではないんだぞ。②シヨウガイの、重大な記念碑を、骨折って造りに行くのだぞ、と繰返し繰返し、自分に教えた。熱海^{あつみ}で、伊東行の汽車に乗りかえ、伊東から下田行のバスに乗り、伊豆半島の東海岸に沿うて三時間、バスにゆられて南下し、その戸数三十の見る影も無い山村に降り立った。ここなら、一泊三円を越えることは無かろうと思った。憂鬱堪えがたいばかりの③ソマツな、小さい宿屋が四軒だけ並んでいる。私は、Fという宿屋を選んだ。四軒の

中では、まだしも、少しましなところが、あるように思われたからである。

意地の悪そうな、下品な女中に案内されて二階に上り、部屋に通されて見ると、私は、い
い年をして、カ。三年まえに、私が借りていた荻窪おぎくぼの下宿屋の一室を思い出
した。その下宿屋は、荻窪でも、最下等の代物であったのである。けれども、この蒲団部屋
の隣の六畳間は、その下宿の部屋よりも、もっと安っぽく、侘わびしいのである。

他に部屋が無いのですか」

ええ。みんな、ふさがって居ります。ここは涼しいですよ
そうですか」

私は、馬鹿にされていたようである。服装が悪かったせいかも知れない。

お泊りは、三円五十銭と四円です。御中食は、また、別にいただきます。どういたしまし
ようか」

三円五十銭のほうにしてください。中食は、たべたい時に、そう言います。十日ばかり、こ
こで勉強したいと思って来たのですが」

ちよっと、お待ち下さい」女中は、階下へ行って、しばらくして、また部屋にやって来て、
あの、永い御滞在でしたら、前に、いただいて置く事になって居りますけれど」

そうですか。いくら差し上げたら、いいのでしょうか」

さあ、いくらでも」と口ごもっている。

五十円あげましょうか」

はあ」

私は机の上に、④シヘイを並べた。⑤たまらなくなつて来た。

みんな、あげましょう。九十円あります。煙草錢だけは、僕は、こちらの財布に残してあ
ります」

なぜ、こんなところに来たのだろうと思った。

相すみません。おあずかり致します」

女中は、去った。怒ってはならない。大事な仕事がある。いまの私の身分には、これ位の
待遇が、相応しているのかも知れない、と無理矢理、自分に思い込ませて、トランクの底か
らペン、インク、原稿用紙などを取り出した。

十年ぶりの余裕は、このような結果であった。けれども、この悲しさも、私の宿命の中に
⑤キテイきていされて在ったのだと、もっともらしく自分に言い聞かせ、こらえてここで仕事を
はじめた。

出典 太宰治 東京八景」より

問1 傍線部①から⑤のカタカナの部分を漢字に改めよ。

問2 空欄部⑦に挿入する語句として最も適切なものを次の①～④から一つ選び番号で答え
よ。

- ① およそ誰も想像し得るものではなかった
- ② やはり真っ暗であった
- ③ およそ己の思考の範囲を超えていた
- ④ やはり理想と現実の狭間に悩むものがあった

問3 傍線部④の主人公の心情について説明したものと最も適切なものを次の①～④の中から一つ選び番号で答えよ。

①理由のない空想に惑わされ、物事を理詰めと考えていくことができなくなった。
②現状への満足感と漠然とした将来への不安感が作者を落ち着かない心情へと導いた。
③全てが期待する方向へと進み、高揚感から却って落ち着かない気持ちとなった。
④押し寄せる不安感からひたすら逃れようとすると却って落ち着かない心境となった。
問4 空欄部⑦に挿入する語句として最も適切なものを次の①～④から一つ選び番号で答えよ。

- ①現実を知ろうとしないだけなのだ
- ②もはや人生を半ば失ったのだ
- ③もう青春を失ったのだ
- ④積極的に生きることをあきらめるべきなのだ

問5 空欄部⑤には「小説で生計を立てる決意をすること」を^や揄する(からかう)意(二字熟語)が入る。最も適切なものを次の①～④から一つ選び番号で答えよ。

- ①堅実
- ②悠長
- ③賢人
- ④俗物

問6 傍線部⑥はこの場合どのようなことを示していると考えられるか。最も適切なものを次の①～④のうちから一つ選び番号で答えよ。

- ①常に緊張感を維持しながら作品に取り組むこと。
- ②実生活を犠牲にしても作品に集中していくこと。
- ③時宜にかなった良い作品を書こうと努力し続けること。
- ④安定した収入を確保しつつ作家としての生計をたてていくこと。

問7 空欄部⑧に挿入する語句として最も適切なものを次の①～④のうちから一つ選び番号で答えよ。

- ①その場の感覚を失った
- ②思わず笑いをこらえた
- ③激情が走るのを感じた
- ④泣きそうな気がした

問8 傍線部⑨のような心情となった原因について説明したものと最も適切なものを次の①～④のうちから一つ選び番号で答えよ。

- ①金銭に執着心のある宿の主人の存在が見え隠れして気分を害したから。
- ②女中の厚かましく不遜な態度を腹立たしく感じたから。
- ③これ以上の出費を求められることを許しがたく感じたから。
- ④部屋の汚さや狭さに比して高い宿賃にあらためて怒りを覚えたから。

問9 作者が「東京八景」を書くにあたっての心情を最もよく表わしているものを次の①～④の中から一つ選び番号で答えよ。

- ① 世間に認められる作家として大いなる一步を踏み出したい。
 - ② いままで無駄に費やした人生を客観的に振り返りたい。
 - ③ 十年間の東京生活の集大成を著したい。
 - ④ 旅館での思わぬ出費を何とか取り戻したい。
- 問10 次の作品の中から太宰治の作品を三つ選び番号で答えよ。

- ① 道草
- ② 夜明け前
- ③ 走れメロス
- ④ 細雪
- ⑤ 富嶽百景
- ⑥ 真実 一路
- ⑦ お目出たき人
- ⑧ 或る女
- ⑨ 人間失格
- ⑩ 河童

□ 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

奈良時代と平安時代とを※截然区別する心持ちがわれわれにある。それは①ベンギ上造った時代の区分にまどわされたのである。

もとより※天平と※弘仁の気分には著しい相違があるが、しかし天平時代末期から弘仁初期の※デカダンスへの反動がある。同時にその継続もある。この間の変遷よりはむしろ※弘法滅後百年間の変遷の方がはるかに著しい。風俗の上ではいつの間にか平安時代風衣冠束帯ができてゐる。女は長い髪をひきずって歩く。今の②ヨウソウのように体の輪郭を自由に現わしていた女の衣裳も、立ち居に不自由な十二ひとえに変わっている。住宅としては寝殿造りが確定した。文芸では『万葉集』の歌が『古今集』の歌に変わる。仮名がきが行なわれて、③が造り始められる。日本人が初めて日本語の文章を作るに至ったのである。美術では繊美な様式が生まれ、それが後代の人から純日本式として受け容れられている。宗教には※空也念仏のごときが現われる。

普通にはこの時代が外来文化の日本化せられた時代と見られている。もしこの特徴をもつて時代を区別するならば、弘仁期は外来文化輸入の時代に入れられなくてはならぬ。しかしここに注意せらるべきことは、問題が単に④輸入と咀嚼とのみにかかわっていないということである。衣冠束帯や十二ひとえや長い髪というごとき趣味の変遷は、ただ⑤モホウから独創に移ったというだけのものではない。(中略)

すなわちこれらの変遷は外来文化を土台としての我が国独特の⑥と見らるべきである。⑦コユウの日本文化が外来文化を包摂したのではなく、外来文化の雰囲気のみならず我が国人の性質がかく生育したのである。この見方は外来文化を生育の素地とする点において、外来文化を単に挿話的のものとする見方と異なっている。この立場では、日本人の独創は外来文化に対立するものではなく、外来文化のなから生まれたものなのである。

自国の言葉で文章の作れなかった時代と、作れるようになった時代と、――その間には確かに大きい進歩が認められる。しかしこの進歩は自国文化の独立のための努力によって得られたというわけではない。大唐文化が潮のように押し寄せて来た時代の人々は漢語漢文の使用を熱心に⑧クワダていたのである。自国の言葉の使用は⑨命や和歌に限られていた。ということは、⑩それが新しい思想や制度に対して役立たぬものと認められていた証拠である。

すでに国文が精練された様式を獲得した後にも、漢文は何か⑪として通用した。女のみが和文をつくる時代は問わないにしても、近松や西鶴の出た後でさえなお漢文は流行

し、また漢文を作ることが学者に必須な資格であった。現今でさえ外国文でその労作を発表する人は、外国文を綴り得るといっただけで、すでに一種の尊敬をうけている。このような日本人が、かつて自国の文章を持たなかった時代に、①漢文を自国の文章として怪しまなかったとしても、特に不思議がることはない。日本文はむしろ教養の不足のためにやむを得ず生まれてきたのである。すなわち平安朝の和文は漢学の素養の少ない女の世界から生まれ、漢字まじりの文は漢文を作る力のない武士の階級から生まれ、口語体は文章体をさえ解し得ない民衆の間から生まれた。このように、自国文化の独立というごとき意識によってではなく、やむを得ぬ必要から押し出されてきたというところに、日本人の創造としての意味があるのではなからうか。

しかし漢語漢文で書いたとしても『日本書紀』が日本人の作品であることに変わりはない。われわれは奈良時代の漢文をも徳川時代の漢文のごとくに日本人の製作として評価して見なくてはならぬ。ある専門家の説によると、この時代の漢文は⑦和臭が少なく、立派なものだとのことであった。これはいわゆる日本的なもの現われていないのをかえてよしとする見方である。造形美術も同じ意味のものと見られてよい。いかに⑧外国の様式そのままであってもそれは日本人の美術であり得る。外来の様式を襲用することは、それ自身恥ずべきことではない。その道において偉大なものを作り出せさえすればよいのである。

確かに天平時代はその偉大なものを造った。この地盤がなければ、藤原時代の文化も起り得なかったであろう。

和辻哲郎作 古寺巡礼」より

※截然^{せつぜん}．．．物事の区別が明確なこと。

※天平．．．奈良時代の年号 8世紀中期までをいう。

※弘仁．．．平安時代前期の年号 9世紀。

※デカダンス．．．既成の価値観に懐疑的な芸術的な思想。

※弘法．．．僧空海のこと。835年逝去。

※空也念仏．．．平安中期の僧空也が始めたとされる念仏。

問1 傍線部①～⑤のカタカナ部を漢字に改めよ。

問2 空欄部⑦に挿入する語句として最も適切なものを次の①～④から一つ選び番号で答えよ。

①両者の違いには微妙なものがある

②どこにも境界線はない

③時代的区分は明確である

④比較することは許されないものである

問3 空欄部①に挿入する二字熟語として最も適切なものを次の①から④から一つ選び番号で答えよ。

①韻文

②論文

③散文

④漢文

問4 空欄部㉠に挿入する語句として最も適切なものを次の①～④の中から一つから選び番号で答えよ。

- ① すべて光景の一変したことを思わせる
- ② すべては多くの誤解を生じさせる
- ③ すべてにおいて物事が交錯したことを感じさせる
- ④ すべてにおいて現実と夢の違いを際立たせる

問5 傍線部㉡の「輸入と咀嚼」とはこの場合どのようなことをいうのか。これを説明したものと最も適切なものを次の①～④の中から一つを選び番号で答えよ。

- ① 外国文化を輸入したものの一切活用せずにそのまま放置すること。
- ② 外国文化を輸入して質の良いものそうでないものを区別すること。
- ③ 外国文化を輸入したもののその本質をうまく理解し得ないこと
- ④ 外国文化を輸入してそれを日本の文化として昇華し活用すること。

問6 空欄部㉢に漢字四文字の語句を挿入して文を完成させたい。最も適切なものを次の①～④の中から一つを選び番号で答えよ。

- ① 以心伝心
- ② 発達経路
- ③ 取捨選択
- ④ 本末転倒

問7 傍線部㉣「それ」は何を指しているのか。その語句を文中からそのまま抜き出して示せ。

問8 空欄部㉤に挿入する語句として最も適切なものを次の①～④の中から一つを選び番号で答えよ。

- ① 間違ったもの
- ② 錯覚したもの
- ③ 偉いもの
- ④ 遠いもの

問9 傍線部㉦「漢文を自国の文章として怪しまなかった」の部分の説明したものと最も適切なものを次の中から選び番号で答えよ。

- ① 漢文を自国の文章としては認めがたいと感じたこと。
- ② 漢文を自国の文章として疑いながらも許容していったこと。
- ③ 漢文を自国の文章としてあらがうことなく受け止めたこと。
- ④ 漢文を自国の文章として流布することに抵抗感を持ったこと。

問10 傍線部㉧「和臭が少なく」の箇所の意味として最も適切なものを次の中から一つを選び番号で答えよ。

- ① 和文の特色が巧みに活かされていること。
- ② 漢文の表現がほぼそのまま活かされていること。
- ③ 漢文の難解な箇所を和文で巧妙に補っていること。
- ④ 漢文を上手く和文に取り入れていること。

問11 傍線部㉨の部分を作者は文中において簡潔な表現にまとめて述べている箇所がある。該当する部分を十字以内で本文中からそのまま抜き出して示せ。